

みんながワクワク!

袋小だより

令和4年度12月号

校長 徳成 聡

令和4年12月22日

◎「人権集会」を行いました

各学級で取り組んだ人権学習をもとに、低学年、中学年、高学年に分かれて人権集会を行いました。

それぞれの人権集会では、各学級で学習したことやこれから取り組んでいくことを発表し、感想交流を行いました。各学級とも、これまでの自分達のこと、これからの自分達のことをしっかり考えた発表でした。

集会の中で、校長から話をする時間をとってもらいましたので、私から、大きく以下の2点について話をしました。

①やるか、やらないか → やらなければ意味がない

②誰のためにやるのか → 自分のため

①について

人権学習の時は、しっかり考え、みんな、とても良いことを思いつきます。それらを出し合って、素晴らしい人権宣言などをつくります。しかし、「作ってしまって終わり」ということがよくあります。そうではなく、「作ってからが始まり」だと思います。各学級とも、素晴らしい宣言を考えています。それを、実際に、一人一人が意識して取り組み、みんなが気持ちよく生活できる学校ができたらいと思います。

②について

なぜ、人権を守る取組をしなければならないのか。「友だちのため」ではなく、「自分のため」だと思います。「友だちのため」も大事なことですが、他人事である部分が大きいです。そうではなく、人権を守る取組を自分事として捉えてほしいと考えています。**自分の周りに人権が侵害されている状況があると(例:いじめがあると)、それがいつか自分に向かってくる(いじめられる)可能性があります。**だから、人権を守る取組(いじめをなくす取組)は、他人事ではなく、自分事だと思います。

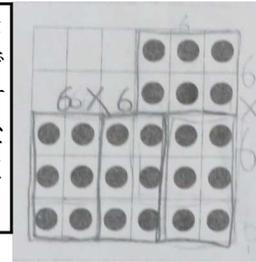
袋小のみんなが、自分事として、みんなの人権を守ろうという意識を持ってくれたらと思います。

2年生、4年生での研究授業

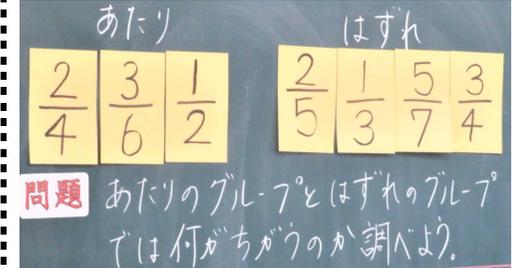
2年生は「かけ算」、4年生は「分数」の学習を行いました。それぞれ、授業の初めに出された問題は以下のとおりです。

2年生の問題

箱の中のチョコレートは全部で何個ありますか。いろいろな求め方を考えましょう。



4年生の問題



かけ算を使って、いろいろな方法で考えられる問題です。実際、子供たちは以下のような考え方を発見しました。

㊦ $5 \times 3 = 15$ $3 \times 3 = 9$

$15 + 9 = 24$

㊧ $3 \times 8 = 24$ ㊨ $6 \times 4 = 24$

自分が考えた方法と異なる考え方に触れることで、更に思考を深める授業となりました。



考え方の発表の様子

「当たりくじと外れくじの違いを見つける」という設定で問題が提示されました。子供たちは「当たりには、どんな共通点があるのか」と意欲的に考えていました。

4年生では、数直線を用いて考えます。中には、5年生で学習する考え方をを用いて共通点を発見した子供もいました。



グループで検討する様子

2学期大変お世話になりました

袋っ子体育フェスティバルや学習発表会など、大きな行事があった2学期でしたが、保護者や地域の皆様のご協力により、無事に終業式を迎えることができます。ありがとうございました。3学期は、更に子供たちの成長のために、保護者や地域の皆様と力を合わせていきたいと考えております。2学期大変お世話になりました。